

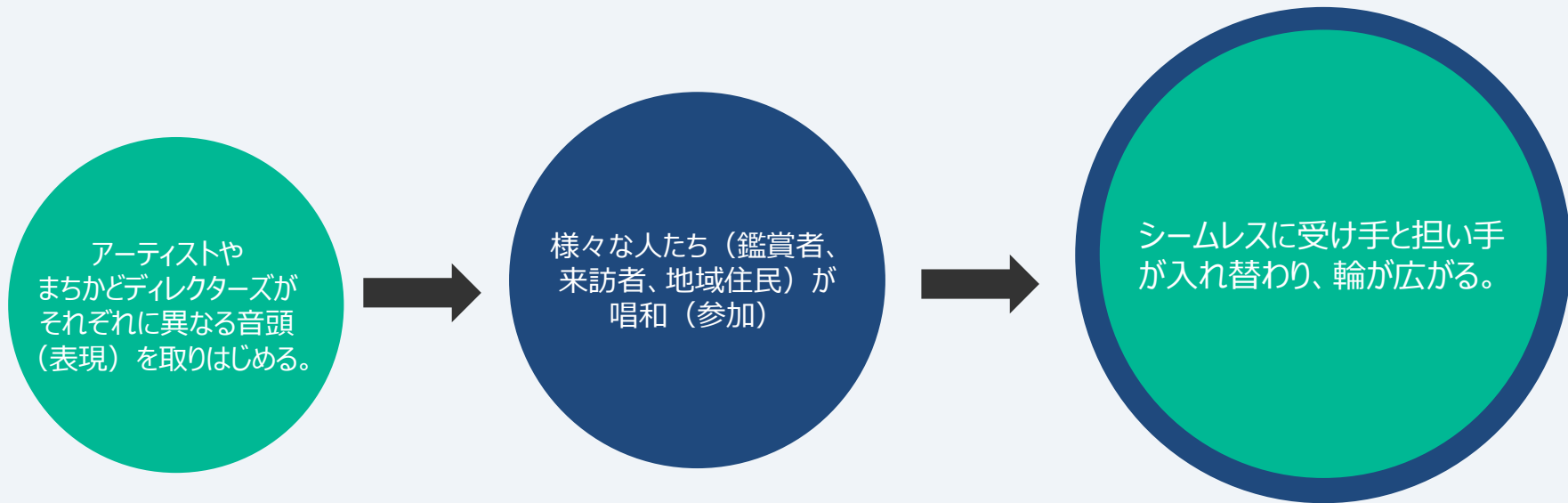
やおまちかど芸術祭企画案

ondo音頭

～アートをまたぐ、まちをつむぐ。市民が主役の芸術文化の祭典～

1. テーマ : 「ondo音頭」

八尾が誇る「河内音頭」の精神を、現代のアートフェスティバルとして再解釈する。



- めざす姿 : 日常に「余白」と「出会い」を作り、市民一人ひとりが「自らの音頭」を取り始める（自分事化）。
- 未来への展望 : 祭りの後の日常でも、独自の文化活動が根付いている状態をめざす。

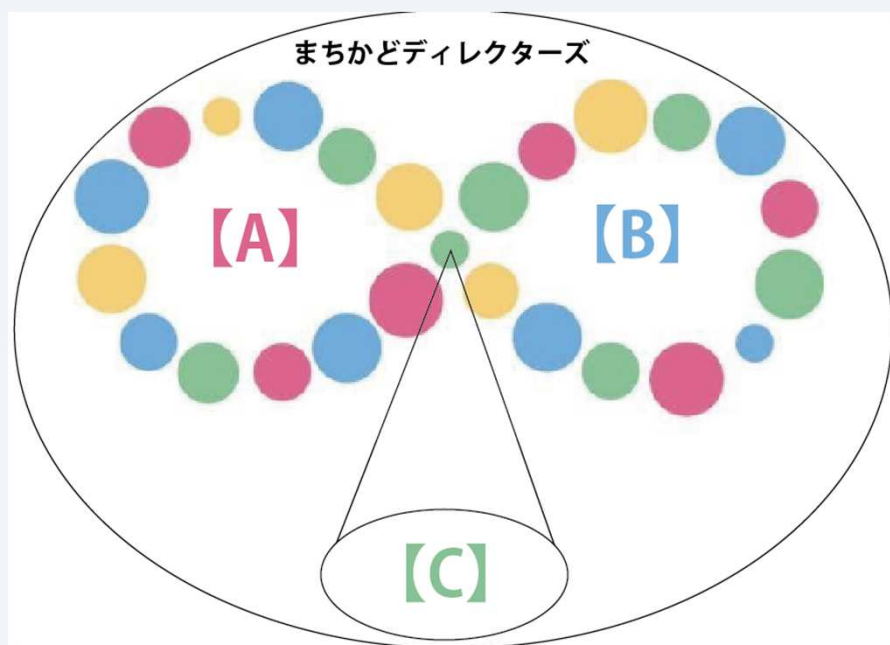
1. テーマ : 「ondo音頭」

テーマ説明 :

- 音頭（おんど）は、日本の民謡の形式で、独唱者が歌いはじめ、そこから大勢が掛け合いで唱和・踊る楽曲、またはその歌い手のことを指す。
- 本芸術祭では、様々なアーティストやまちかどディレクターズがそれぞれに異なる音頭（表現）を取りはじめる。音頭（表現）に追従するように様々な人たち（鑑賞者、来訪者、地域住民）が唱和（参加）し、始めは見様見真似に歌い・踊る。徐々にそれぞれの持つ独自のオリジナリティ/アイデンティティを発露しながら、唱和する側が音頭（表現）を取り始める。
- シームレスに受け手と担い手が交互に入れ替わり、多様で多声的な音頭（表現）の輪が広がり重なり合っていく芸術祭をめざす。
- また、普段の生活の役割から逸脱し、アーティストやディレクターやパフォーマーに入れ替わることができるのは、祭りならではの非日常の体験である。
- 会期中に表現を通じてイメージの発見や交流が生まれ、副次的に予想だにしない新たな企画や表現が立ち上がっていくことをめざす。
- また、非日常・眩暈と混沌・疫病や台風などを鎮めるための神事などの祭を想起させるようなプログラムや構成を組む。
- 本芸術祭を通じて、表現者及び表現を支える音頭をとる企画者（まちかどディレクターズ）が増えていき、祭りの後の日常でも独自の文化活動が広がっていくことを願っている。

2. まちかどディレクターズによる3つのプログラム属性

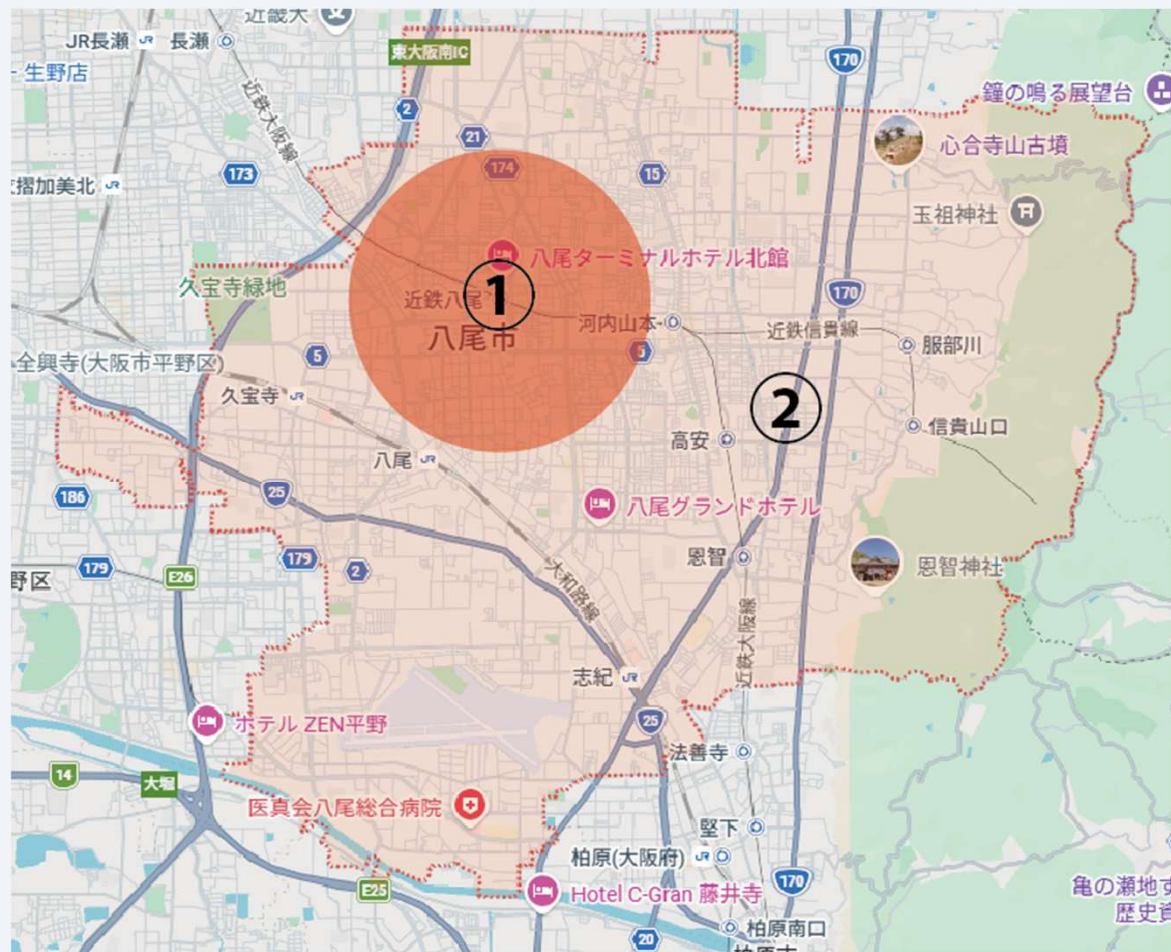
本芸術祭における企画者は全員が「まちかどディレクターズ」となり、以下のA、B、Cの3つのプログラム属性に分かれる。
A、B、Cがそれぞれに掛け合わされるハイブリッド型芸術祭をめざす。



属性	内容	特徴
【A】地域主体プログラム	企画を公募形式で募る。無審査・ジャンル不問。展示、音楽、飲食、ダンスや演劇、ワークショップなど市民の自由な発想を実現。	● 市民の自由な発想を実現する。 ● 属性としてはマイクロプロジェクト思考、コミュニティスペシフィックな方向。 ● メイン対象想定は地域住民やその周辺コミュニティ。
【B】芸術プログラム	芸術がディレクションする展示をメインとしたプログラム。緻密さやダイナミズム、表現の目新しさ、驚きと発見。アートに触れる機会が普段少ない人にとっても「これはすごい」と思わず魂を揺さぶるような表現をめざす。	● 現状では地域の方が主体となるプログラムで展示系が少ないと思われるので、その点についても補完する。 ● 属性としてはメガプロジェクト思考、サイトスペシフィック的な方向。 ● メイン対象想定は芸術祭やアートファン。
【C】コミュニケーションプログラム	オープニングセレモニー、レセプション、クローゼイングイベント、まちあるき、ガイドツアー、トークイベント、スタンプラリーなど。AとB、またはA同士を結ぶ。上記に加えて鑑賞者や住民を巻き込み結ぶ。	● 属性としてはAとBの企画を結ぶ。 ● A同士を結ぶ。 →コミュニティスペシフィックの強化。 ● 鑑賞者や住民、アーティスト、スタッフ、様々な人同士を接続し、活動の輪を広げる。

3. 開催エリア

エリアは①近鉄八尾駅周辺と②八尾市内全域に分かれる。



① 近鉄八尾駅周辺 総合インフォメーション

北は萱振御坊 恵光寺（近鉄八尾駅から徒歩18分）
東は近鉄河内山本駅（近鉄八尾駅から徒歩22分）
南はJR八尾駅（近鉄八尾駅から徒歩25分）
西は久宝寺御坊 顕証寺（近鉄八尾駅から徒歩22分）
までを境とするエリア内を最大とする。
近鉄八尾駅から徒歩で周遊できる程度の範囲内。

② 八尾市内全域

3. 開催エリア

①近鉄八尾駅周辺の会場候補（最終会場数未定）



八尾市文化会館 プリズムホール
きんやおひろば
旧 割烹旅館山徳
常光寺
ファミリーロード、城正会商店街（店舗内、アーケード）
商店街前買い物公園
八尾天満宮
仏具通り広場
久宝寺御坊 顕証寺
廃ビル（加納クリニック）
環山楼（八尾小学校敷地内）
萱振御坊 恵光寺
木村家住宅
八尾図書館
八尾商工会議所
八尾市役所
旧植田家住宅
天台院
など

3. 開催エリア

会場特徴一例

・近鉄八尾駅前広場では、360度から鑑賞できる仮設舞台の櫓（やぐら）を期間中設置。また、櫓（やぐら）自体が現代アート的なフォルムをしており、芸術祭やまちのビジョンを象徴するモニュメントとしても立ち上がる。誰もが主役になることができ、360度取り囲むまち自体が鑑賞者となる。

→音楽や踊りや演劇、朗読、パフォーマンス、ライブペイントなどのイベント開催の受け皿に。アクセスのいい場所で表現を行うことで、より多くの来場者や企画参加者を見込む。



・プリズムホールでは、【A】地域主体プログラムと【B】芸術プログラムの双方の展示を共存して開催。

【A】と【B】の境界が無く緩やかに混ざりあい、表現において互いに垣根のない世界観を表す。また、公開制作やワークショップやツアーも設け、多くの方に鑑賞及び作品制作にも関わっていただく。



4. 開催時期：2028年秋（約1ヶ月半or2ヶ月）

2028年（令和10年）10月21日～12月10日（予定）

開催期間の戦略

八尾市の重要な節目である80周年と連動し、秋の行楽シーズンに開催することで、来場者数とイベントの注目度を最大化する。

5. 会期中のプログラム

※会期中は、まちかどディレクターズによるゲリラ的なコラボレーションの発生を許容。

平日プログラム：日常の彩り

【鑑賞プログラム】をメインに、まちかどにアートがある風景を楽しむ。

例：

- ・ストリートアート展示
- ・店舗内アートインスタレーション
- ・公共スペースでの小型作品展示

土日祝プログラム：非日常の体験

【パフォーマンス・イベント】を展開。演劇、ライブ、ワークショップなど

例：

- ・広場での演劇・音楽ライブ
- ・体験型ワークショップ
- ・特別展示・交流イベント

6. 2028年に向けたロードマップ（案）

持続可能な体制を整備するとともに、段階的に取り組みを進める。

2026年度

- 企画立案（概要となる資料の作成）
- 芸術祭全体に関わる現地下見
- 協力者との関係構築
- その他連絡調整
- 組織配員調整と決定
- 全体概要の決定
- 会場候補地の調査、交渉、リスト化
- まちかどディレクターズ募集要項作成開始
- 簡易チラシやポスターデザイン制作開始

【芸法業務】

芸術監督業務＞芸法ディレクション企画業務

2027年度

【春】

- 協力団体や企業の調査、交渉、リスト化
- 開催決定のリリース、HP公開
- まちかどディレクターズ募集開始
- 簡易チラシやポスター完成、配架

【夏】

- ウェブ（sns）のリリースと随時情報発信
- まちかどディレクターズ締め切り・説明会・リスト作成

【秋】

- まちかどディレクターズの各素案の提出・ヒアリング・会場マッチング・調整

【冬】

- まちかどディレクターズ含め企画実施内容の決定
- コミュニケーションプログラムの企画立案の決定
- コアスタッフの調整決定
- パンフレットデザイン制作開始

【芸法業務】

芸術監督業務＝芸法ディレクション企画業務

2028年度

【春】

- プレイベント（企画発表会、交流会）
- 準備期間
- パンフレット完成、配架

【夏】

- 準備期間

【秋】

- 本番開催
（市制80周年施策との相乗効果）

【芸法業務】

芸術監督業務＜芸法ディレクション企画業務

7. 決定した事項

■ 決定した事項

項 目	内 容	項 目	内 容
名称	やおまちかど芸術祭	開催エリア	①近鉄八尾駅周辺エリア（中心エリア） ②八尾市内全域（連携エリア） ※近鉄八尾駅周辺エリアでの集中開催を基本とする。
目的・趣旨	• 日常の中の「余白」と「出会い」 • 市民が主役（自分事化） • ごちゃまぜの交流	開催時期	2028年10月21日～12月10日（予定） ※51日間（総合インフォメーションのみ早期オープン） ※開催日や時間は企画により変動
ターゲット	• メイン：八尾市民、子ども、アートに関心が薄い層 • サブ：市外からの来訪者、アーティストのファン • 波及：万博来場者、SNS層	芸術の種類	現代アート、パフォーマンス、市民主体（共創アート）
テーマ	ondo 音頭	芸術監督	小國陽佑 氏
コンセプト	アートをまたぐ、まちをつむぐ。市民が主役の芸術文化の祭典	実施主体	やおまちかど芸術祭実行委員会

8. 主要な協議事項



KPIの策定

- 単なる来場者数ではない評価軸
- 開催の成功を測る基準（何がどうなれば成功と言えるのか。）
- ロジックモデル作成に向けた検討



予算計画、広報戦略

- 令和9年度、10年度の予算計画
- 広報戦略
- 企業協賛、クラウドファンディング、助成金獲得目標の設定、資料作成



会場の実現可能性

- 候補地（商店街、町工場、寺社仏閣等）との交渉
- 総合インフォメーション
 - サポートスタッフが常駐し、まちや芸術祭の魅力を発信。
 - コミュニティサロン
 - まちかどディレクターズや企画の関連グッズの販売。
 - 作品のリペア部品や運営の備品なども保管、管理。
 - サポートスタッフの休憩所